

募集要項

○対 象 市内在住、在勤、在学の方
全講座を受講できる方

○定 員 40人（定員を超えた場合は抽選）

○受 講 料 無料

○申込期限 9月14日（月）＜必着＞

○申込方法 右のQRコードから。

または、はがきかファックスに

“市民環境アカデミー参加”と明記の上、

①参加者全員の氏名（ふりがな）

②住所

③電話番号

④年齢

をご記入いただき、下記申込先まで送付してください。

問合せ・申込先

春日井市環境部環境政策課

〒486-8686 春日井市鳥居松町5丁目44番地

TEL：0568-85-6216 FAX:0568-84-8731



お申し込みはこちらから

台風による警報や熱中症特別警戒アラートの発令等により、講座を延期もしくは中止する場合があります。

令和8年度 春日井市

市民環境アカデミー



市民の皆様が家庭や地域において環境活動を率先して実践できるよう、地球温暖化、生物多様性、SDGsなどをテーマに、各分野の第一線で活躍する講師陣から幅広く環境について学ぶことができます。

各講座の内容・講師・日程などは中面、募集要項については裏面をご覧ください。

2050年二酸化炭素排出量実質ゼロの実現に向けた

地球温暖化対策の取組みを着実に進めていくため

令和3年6月22日に「ゼロカーボンシティかすがい」を

宣言しました。

令和8年度 春日井市 市民環境アカデミー

	日時		会場	タイトル	概要	講師	プロフィール
1	9月28日 (月)	10:30～ 10:45	市役所本庁舎12階大会議室 (春日井市鳥居松町5－44)	開講式	オリエンテーション	市職員	-
		10:45～ 12:15		SDGsを「自分事」にするヒント 〈SDGs・ESD〉	SDGsとは、地球規模の17の課題に取り組み、それを解決することでより良い社会を目指す国際的な共通目標のことです。「より良い社会」の実現には、持続可能な発展が必要です。本講義を通して、SDGsの課題解決のためのフィールドが身近な地域にも広がっていることを学びます。	中部大学国際ESD・SDGsセンター センター長・教授 古澤 礼太	【専門分野】文化人類学、アフリカ地域研究 【委員歴】中部ESD拠点運営委員会、愛知県教育委員会ユネスコスクール支援会議、愛知学長懇話会SDGs企画委員会 【著書】持続可能な発展への挑戦: 中部ESD拠点が歩んだ国連ESDの10年（風媒社・単著） 
2	10月21日 (水)	9:30～ 12:00	少年自然の家第2研修室、築水池 (春日井市廻間町1102番地1)	フィールドワークで蝶の生態系を知ろう 〈生物多様性・フィールドワーク〉	春日井市の東部丘陵地域には多くの自然が残っており、そこには多種多様な動植物が生息しています。本講座では、フィールドワークにて、蝶の生息する環境を理解し、自然環境保護について考えます。	春日井市自然環境保全活動推進員 尾崎 尚志	【役職等】かすがい東部丘陵自然観察会会員、モニタリング1000里地調査（蝶）築水の森調査員、名古屋昆虫同好会会員、春日井郷土史研究会会員 【活動実績】春日井市の蝶についての研究と自然環境保護、アウトドアの自然観察会（蝶と花）を実施している。 
3	11月6日 (金)	14:00～ 15:30	市役所本庁舎1004・1005会議室 (春日井市鳥居松町5-44)	温熱環境デザインを学ぼう 〈室内気候〉	暑い夏や寒い冬を健康に過ごすために、温熱環境を整える技術を生活者自身が身に着けることは重要です。この講座では、人が暑い・寒いと感じる仕組みを体験実験を交えて学び、生活の中で応用できることを目指します。	愛知淑徳大学 建築学部建築学科 准教授 廣谷 純子	持続可能な都市の実現には、建物の性能向上（ハード整備）と適切な使い方に導くサポート（ソフト支援）、加えて、環境意識・知識の普及が必要だと考え、研究・教育活動に取り組んでいます。 【専門分野】建築環境学、温熱環境デザイン、住環境教育 
4	12月15日 (火)	14:00～ 15:00	文化フォーラム春日井会議室A・B (春日井市鳥居松町5－44)	天気からみる地球温暖化 〈気象、気候変動〉	近年多発する大雨災害や猛暑による熱中症被害など、身近な気候の変化にも地球温暖化の影響が現れています。地球温暖化で何が起きているのか、将来どんな影響が起こり得るのか、分かりやすく伝えます。	名古屋地方気象台 気象情報官 吉村 香	名古屋地方気象台で採用され、その後は、津地方気象台、福井地方気象台、東京管区気象台などでも勤務する。現在、気象台での報道機関との対応窓口や季節予報、防災気象情報の普及啓発などを担当している。 【所属学会】日本気象学会 
5	1月15日 (金)	14:00～ 15:30	文化フォーラム春日井会議室A・B (春日井市鳥居松町5－44)	持続可能なフードシステム 〈水産物流通・フードシステム〉	水産物は人々の健康維持と豊かな食生活の実現に欠かせない重要な食料です。また、この食料の生産・流通・販売にかかわる諸経済活動は、漁村地域の経済を支える基盤でもあります。本講義では、自然環境が大きく変化する中で、海洋生物資源の持続的かつ有効な利用をどのように実現していくかを考えます。具体的には、フードシステムの観点から水産物の生産・流通の現状を解説し、水産物の持続可能な生産・流通システムを構築する重要性について学びます。	三重大学 生物資源学研究科・生物資源学部 教授 常 清秀	【専門分野】水産経済学、水産物流通 【所属学会】漁業経済学会理事、地域漁業学会理事、日本農業市場学会、フードシステム学会、日本水産学会 【学術賞】学会奨励賞（地域漁業学会、漁業経済学会）、三重大学賞（地域共創） 【著書】“なりわい”産業の危機と光（晃洋書房・共著） 
6	2月1日 (月)	10:00～ 11:30	市役所本庁舎12階大会議室 (春日井市鳥居松町5－44)	人間活動と生物多様性の相互関係 〈生物多様性〉	私達の快適な生活は様々なインフラによって支えられています。しかしながらその快適な生活のため、生態系に様々な影響が及ぼされ、生物多様性に大きな影響を与えています。外来種の侵入や在来種の減少は人間活動による生態系への影響の一部です。本講座では、生態系に対する人間活動の影響を学ぶことで、地球環境に優しい人間活動への理解を深めます。	名古屋工業大学大学院 工学研究科 教授 増田 理子	【専門分野】保全生態学、繁殖生態学 【研究テーマ】絶滅危惧生物の保全、外来種の侵入解析、生態系の回復 【委員歴】愛知県環境影響評価審査会委員、三重県環境影響評価委員会委員ほか 【略歴】東京大学大学院理学系研究科博士課程修了後、日本学術振興会特別研究員、愛媛大学工学部講師などを経て現職 
		11:30～ 12:00		閉講式	修了証交付	市職員	-

※ 台風による警報や熱中症特別警戒アラートの発令等により、講座を延期もしくは中止する場合があります。